

【校訓】  
自律  
協働  
創造

挑戦




学校教育目標

「わたしの学校 みんなの学校 미래の学校 小森江小」 ～挑み、学ぼう。好きを楽しもう。～

Mission : 小森江っ子をまんなかに、未来を切り拓く学びを通じて、誰もが幸せな社会づくり (well-being) を目指し続け、実現しようとする存在となることを目指す

Vision : 多様性を尊重し、門司中学校区や社会の持続的なより良い未来の実現に向け、自律し、仲間と協働し、価値あるものを創造しようとする子どもを育成する

Value : 門司中学校区から世界を見据え、心理的安全性を基盤に、9カ年を意識した主体的に学び続けるラーニング・コミュニティを形成する

Let's have fun 楽しもう      Just do it まずはやってみよう      Learn as you play 遊ぶが如く学ぶ      The world is your oyster 可能性は無限大

<国・市の動向>

- ・日本国憲法 教育基本法 学校教育法
- ・学習指導要領 (教科書改訂)
- ・「元氣発進！北九州」プラン
- ・北九州市教育大綱 (R6～R8)
- ・第3期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン
- ・学カ・体カ向上アクションプラン
- ・業務改善プログラム・人材育成基本方針
- ・教職員支援プロジェクト など

目指す学校像

- 「小森江小学校で学び、働き、通わせてよかったと思える学校」
- 学ぶ楽しさを実感する安全・安心な学校
  - 地域に根差し、未来と世界を感じる学校
  - 多様性を理解し、文化を創造する学校

目指す児童像

- いのちとところを尊重し合う子ども→自律
- 夢を語り合い、価値あることを創り出す子ども→協働・創造
- 自らを問い直しながら粘り強くやり抜く子ども→挑戦

目指す教職員像

- 子どもとともに汗し、感動する、使命感と情熱をもつ教職員
- 子どもの心の変化に気付く、信頼関係を構築できる教職員
- 互いに研鑽し合い、専門職としての資質・能力の向上を目指すとともに、「チーム小森江小」の一員として自分の役割を果たす教職員
- 自分の家族や家庭を大切にす教職員 (ワークライフバランス)

5つの重点目標と具体的方策

1 学びの主体者は子ども、教師は黒子：「えらぶ」「いどむ」「たのしい」授業づくりへの挑戦

- ①【個別最適な学び・協働的な学び】学びの個性化・指導の個別化、協働化の視点+指導と評価を支えるデジタルとアナログの融合
  - ・子どもが主体性を発揮する授業デザイン【選択・調整】
  - ・家庭学習の充実 (GIGA端末活用・考えの形成を課題化・自学の充実・長期休業日の有効活用)
- ②【指導と評価の一体化】形成的評価を充実する「振り返り」活動の推進
  - ・質的・量的な科学的根拠をもとにした形成的評価の充実
  - ・振り返りの実施と分析 (自己肯定感・自己調整力・レジリエンスに着眼)
- ③【挑み、学びたくなる環境】子どもが主体的に学ぶ学習環境デザインの充実
  - ・学校のリソースの活用・開放
  - ・授業のユニバーサルデザイン化
- ④【言葉の力の量的・質的向上】グローバルな視座からインプットとアウトプット (情報収集・選択・活用) の推進
  - ・新聞活用・読書推進・学校図書館の学習センター化
  - ・音読・視写・新聞・トークタイムの推進・充実

4 子どもの未来を見据えた門司中学校区保幼小連携・小中一貫・コミュニティスクールへの挑戦

- ⑨【カリキュラム・マネジメント】門司中学校区小中一貫・コミュニティスクールを生かす9カ年の教育課程をデザイン
  - ・教科等を意図的・計画的に繋ぐ探究的な学びの実現 (防災・キャリア等)
  - ・「門司中学校区小中一貫教育が目指す子どもの系統表」の活用
  - ・門司中学校区小中一貫・コミュニティスクールの推進 (児童生徒、教職員、教務主任、管理職 合同研修会)

2 心理的安全性を基盤とした、安全・安心な居場所づくり・仲間づくりへの挑戦

- ⑤【心身の健康】子どもが主体的に創り出す、年間を見通した意図的・計画的な特別活動・学校行事の充実
  - ・「自己実現・価値志向・集団参加」の視点から特別活動の充実
  - ・子どもが主体となった体力向上の取組の充実
- ⑥【多様性の理解】思いやりの心を姿で表し、自分で判断し、言動に責任をもつ心と実践力の育成
  - ・異学年交流の充実・異学年学びの推進 (縦割りグループの今日的活用)
  - 健康・安全教育の推進 (自助・公助・共助)
  - ・「自らの命は自らで守る」意識向上を図る防災・減災指導推進



3 人権意識を培い、しなやかに生きる力を培う教育への挑戦

- ⑦【キャリア支援】人権教育・特別支援教育・生徒指導の一体的充実
  - ・「多様性」理解・支援、「居場所」づくりに繋ぐコーチング×ファシリテート
- ⑧【個別支援】スピード感を持ち、粘り強くチームで関わる児童支援「さしすせそ」対応
  - ・組織的・機動的な生徒指導体制の充実 (近接学年組織を基軸)
  - ・いじめ (の芽) 事案への速やかな対応
  - ・不登校傾向、「気にかけてい子」への粘り強い支援
- 確かな人権感覚を育み、人権意識の高揚を図る人権教育の推進
  - ・新版「いのち」北九州市子どもつながりプログラム」の活用
  - ・「明日への伝言板」等、人権作品を活用した人権教育の推進
- 思いやりの心の育成や規範意識の醸成
  - ・心に響く道徳科の授業づくり
  - ・支持的風土のある学級集団づくりを促進する学級活動の充実
  - ・非行防止、薬物乱用防止、情報モラル等の取組の充実
  - ・挨拶・清掃・奉仕的な活動の充実「奉仕と感謝の心でつながる」

5 小森江小に集うすべての人のwell-beingの実現

- 【保護者・地域・関係機関との連携】
  - ・門司中学校区学校運営協議会委員との連携
  - ・学校からの情報発信の強化
- 【学校経営ビジョン】の共有
  - ・PDCA・OODAループサイクルの構築
  - ・具体的な目標設定「何をいつ、誰がどのように」
  - ・学校経営を情報共有し学校自己評価、学校関係者評価の充実

- ⑩【小規模・専科指導の活用】子どもを多面的・多角的に理解し支援する学び合うチーム小森江 (小森江小OJTシステム) の充実
- ⑪【業務改善と人材育成の両立】授業の質向上⇔ワークライフバランスの充実
  - ・2学期制導入・授業時数削減等制度改革の有効活用

人材育成・OJTの充実

「小森江っ子まんなか×一人一人が主人公」の考え方を中核とした、誰一人取り残さない教育の実現

業務改善 (ワークライフバランス)

5つの重点項目実現のために大切にしていること

- ①【危機管理体制・対応の徹底】
  - <クライシス・リスクマネジメント>
  - ・危機管理の「さしすせそ」
  - ・「一つ上」の対応 (きめ細やかな保護者連絡)
  - ・「はよう・れん・そう・かく (報告・連絡・相談・記録)」
  - ・いじめ防止アンケート、教育相談、関係機関との連携の充実
  - ・特別な支援が必要な児童の個別の支援体制の充実

- ②【時を守り、場を清め、礼を正す】【働きやすい学校づくり】
  - ・教育公務員としての自覚とプライドをもち、綱紀粛正に努める。
  - ・不祥事撲滅 (体罰・飲酒運転・ハラスメント・個人情報管理)
  - ・心と体の声を聴き、健康管理に努める。
  - ・ワークライフバランスの推進 (時間は有限の資源 勤務時間意識)
  - ・選択と集中の徹底：質 (目的と価値) を吟味し、精選する

- ③【教職員の協働体制の充実】
  - ・お互いの強みを生かし合うチーム小森江小 (小森江小OJT)
  - ・ベテランの知恵を継承し、若年の豊かな発想力を支援し、互いに学び合う風通しのよい職場づくり
  - ・目的性・計画性・即時性 「まずはやってみよう」
  - ・危機意識『ヒヤリ』『ハット』の共有・改善
  - ・「当たり前」を疑い、常に改善する意識の向上